



# **「養父市地域コミッティ」のキックオフ会議を開催**

## **養父市自動運転バス実証実験に向けて**

養父市では、交通弱者にやさしい持続可能な公共交通体系の構築をめざし、自動運転バスの実証実験に取り組みます。



会議風景



使用車両（予定）

人口減少とモータリゼーションの進化に伴い、地方の公共交通の維持確保が地方自治体の大きな課題になっています。

養父市では、ドライバー不足に代表されるいわゆる「2024年問題」への解決策の一つとして、また、今や「人権」とも言われる地域住民の移動手段を確保し、豊かで安全に安心して暮らせる地域社会を樹立していくために、自動運転バスの実証実験に取り組みます。

この事業は、国土交通省が所管する「自動運転社会実装事業」に応募し、このたび全国で99の自治体の実証フィールドとして選ばれましたが、養父市もそのひとつに選定されたものです。

このほど、実証実験実施に向け、近畿運輸局、近畿経済産業局、兵庫県警察、国県道路管理者、交通事業者などで構成される「養父市地域コミッティ」のキックオフ会議を6月26日に開催しました。

会議では、会議規約の承認に引き続き、事業目的やスケジュール、運行ルート、使用する車両などについて概要説明が行われ、そのあと各構成団体から事故対応に関することや検討している運行ルートへの課題などについて活発な質疑や意見交換が行われました。

今後は、秋から冬にかけての実証実験の開始をめざし、「養父市地域コミッティ」構成団体間における個別具体の協議調整を進めていきます。

★「地域コミッティ」会議の目的：地方公共団体や関係行政機関、交通事業者等が連携し、様々な諸課題を共有しつつ、それらの課題解決を図りながら将来的な自動運転バスの実装をめざす。

### 【問合せ】

まち整備部 土地利用未来課 課長 江本賢治 担当者 富田雄士  
電話 (079) 664-1410